

- ▶ 本巣市においては古くから植林が積極的に行われてきたが、現在では他の自治体と同様に手入れが十分でない森林が増えていることから、森林経営管理法に基づき市が私有林を管理（切り捨て間伐）する取り組みを始めた。
- ▶ 取り組み初年度となる令和元年度は、既存のデータを基に所有形態や間伐の対象となる人工林の分布・間伐履歴等にかかる情報をとりまとめた。この調査をベースにして森林整備が十分でないと推定される外山・宇津志地区の一部について森林所有者を探索し、意向調査を実施した。森林の管理を市に委託する意思のある所有者について、森林経営管理法に基づき森林管理権集積計画を策定した。
  - 意向調査を行った人数49人、対象面積127ha
  - 経営管理権集積計画の作成 7人（共有者1人を含む）、29.57ha

## □ 事業内容

### 1 意向調査の準備、専門員による森林所有者の探索

- 集積計画策定の対象となる森林所有者を把握するため、所有者探索を専門に行う臨時職員を雇用した。探索の成果を受け、意向調査を実施した。

【事業費】 1,210千円（うち譲与税1,210千円）

【実績】 意向調査実施人数：49人、対象筆数：131筆

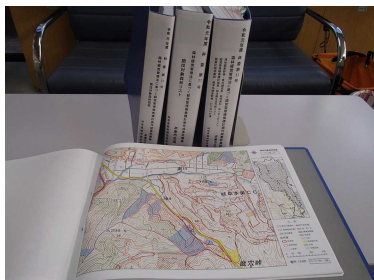
### 2 間伐対象森林の把握と経営管理権集積計画の作成

- 人工林や所有形態等の森林情報を整備した。市に管理委託することを同意した森林所有者の森林について森林経営管理法に基づく集積計画を策定した。

【事業費】 10,953千円（うち譲与税10,953千円）

【実績】 間伐対象森林等の把握 一式

集積計画作成面積：面積29.57ha



（委託業務報告書）



（事業説明用リーフレット）

## □ 事業スキーム

- 1 森林調査等に長けた専門業者との連携

間伐対象森林等の把握 市の情報を含めて委託業者が作成

森林所有者の探索 市が専門職員を雇用して実施

事業説明・意向調査 市と委託業者が連携

境界確認・集積計画作成 委託業者を中心に実施

## □ 工夫・留意した点

- 初めての事業であり、地積調査が行われている地域の森林を優先した。
- 森林経営管理制度を解説するリーフレットを作成し、意向調査においては市の森林整備計画の説明書と併せて配布した。

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	16,922千円
②私有林人工林面積（※1）	7,433ha
③林野率（※2）	85.3%
④人口（※3）	33,995人
⑤林業就業者数（※4）	44人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より

- ▶ 本巣市で森林整備等に取り組む事業体は4社ある。森林作業は危険・きつい仕事であり、森林技術者の高齢化とあわせて林業に就業した若者も定着しにくい現状にある。
- ▶ 令和元年度においては、本巣市の4事業体に雇用される森林技術者の労働環境の改善・事故防止の観点から個人負担で購入されることも少なくない安全装具等の購入に対して助成を行った。
  - チェーンソー防護ズボン、防振手袋の購入に対して支援を行った。
  - 空調付き作業服の購入に対して支援を行った。

## □ 事業内容

### 1 安全装具などの購入助成

- 林業事業体が雇用する森林作業者が使用する安全装具等を購入した際に、予算の範囲内で助成した。

【事業費】 902千円（うち譲与税902千円）

【実績】 助成した事業対数：4

チェーンソー防護ズボン：26着、空調作業服：5着  
防振手袋：2双



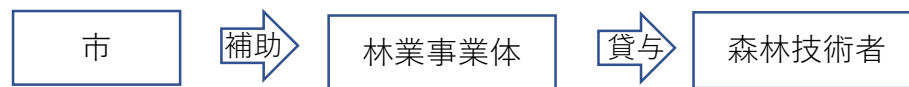
（チェーンソー防護ズボン）



（空調付き作業服）

## □ 事業スキーム

- 1 安全装具などの購入助成



## □ 工夫・留意した点

- 森林技術者が林業事業体に雇用されていることの確認
- 安全装具の着用を敬遠する者も見られるが、作業中は確実に使用されるよう、安全講習会の受講などについても林業事業体を指導・支援している。

## □ 基礎データ

①令和元年度譲与額	16,922千円
②私有林人工林面積（※1）	7,433ha
③林野率（※2）	85.3%
④人口（※3）	33,995人
⑤林業就業者数（※4）	44人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より